

# 中学校・高校教科書の高齢者像

山本圭郎\*・入江和夫

A Senior Citizen Image in the Junior and High School Textbooks

YAMAMOTO Yoshiro\* & IRIE Kazuo

(Received September 28, 2007)

キーワード：高齢者像、健康状態、家族形態、家庭科教育

## 1. はじめに

日本の高齢化は急速に進んでおり、2015年には高齢化率が26.0%<sup>1)</sup>となり、4人に1人が65歳以上の高齢者になることが予測されている。高齢者と接する機会は今後ますます増加すると考えられ、高齢者とのよりよい関係が望まれる。前報<sup>2)</sup>で山口大学生が考える高齢者とは“健康状態が悪く、日常生活への影響があり、身体的・心理的理由によって付き合いが妨げられ、気分は落ち込んでいる”、“家族では一人暮らし、子どもと希薄な接触、子どもや孫と距離をおいた付き合い、近所とは付き合いが希薄、友人はいない”であった。また、内閣府による一般人を対象にした意識調査<sup>1)</sup>においても高齢者とは“心身のおとろえ、健康面での不安が大きい”、“周りの人との触れ合いが少なく、孤独である”というイメージがあると報告されている。しかし、このような否定的高齢者観は実際の高齢者と大きくずれている。著者らはこのような高齢者イメージは教科書から形成されてきたのではないかと考え、高齢者の健康状態と家族形態の観点から小学校教科書の挿絵について分析<sup>3)</sup>した。その結果、予想に反して元気な高齢者像の方が多かった。しかし家族形態では高齢者の存在しない核家族が最も多く、このことが高齢者の一人暮らしや孤独イメージに寄与しているのではないかと考えた。

そこで、今回は中学校教科書（1社に限定）の国語科（1～3年）、社会科（地理、歴史、公民）、保健、道徳（1～3年）、家庭科の5教科について、高校では、家族を扱う観点から家庭総合教科書（2社）について調査することにした。分析は前報<sup>3)</sup>と同様に健康的か否かの高齢者像及び家族形態の観点から行い、その具体例も示した。ここでは以上の結果を述べるとともに、超高齢社会の観点から一考する。

## 2. 資料と分析方法

### (1) 科目

- 1) 中学校：国語科<sup>4)5)6)</sup>（1～3年）、社会科（地理<sup>7)</sup>、歴史<sup>8)</sup>、公民<sup>9)</sup>）、保健<sup>10)</sup>、道徳<sup>11)12)13)</sup>（1～3年）、家庭科<sup>14)</sup>の5科目を対象とした。
- 2) 高校：家庭科家庭総合（開隆堂<sup>15)</sup>、実教出版<sup>16)</sup>）の2冊を対象とした。

---

\* 山口大学大学院教育学研究科院生

(2) 高齢者像：表中の「高齢者」とは家族の中にいない（＝例えば、八百屋で働く高齢者）と家族の中にいる（＝例えば、団らんの中の高齢者）場合の両者を示している。

(3) 家族形態

- 1) 「拡大家族の（健康的な、健康を害した）高齢者」とは家族と一緒にいる高齢者である。
- 2) 「一人暮らしの高齢者」とは一人暮らしである旨が記述されている高齢者である。
- 3)
  - i) 「核家族、祖父母のみ」とは家庭で団らんしている、共同行動している男女の高齢者である。
  - ii) 「核家族、父母のみ」とは家庭で団らんしている、外で散歩や買い物など共同行動している男女である。
  - iii) 「核家族、父母と子」とは家庭で食事をつくる、外で買い物するなど共同行動している親子である。

### 3. 結果と考察

1) 国語科

(1) 高齢者像

表1に国語科教科書（1～3年）の高齢者像の枚数を調べ、示した。

表1 中学校国語科教科書（高齢者像）

中学校：高齢者（写真数）		国語科
		枚数（％）
高齢者 <sup>a</sup>	健康な高齢者	6(100)
	健康を害した高齢者	0(0)
総計 <sup>b</sup>		6(100)

a：家族形態に関係なく、全ての高齢者の写真

b：中学校1～3年の高齢者写真数

中学校1～3年までの高齢者の写真・挿絵の総計は6枚であった。人形浄瑠璃の仕事をしているような「健康な高齢者」が6枚（100％）のみであり、中学校国語科に描かれている高齢者像とは健康的な姿であることがわかった。

(2) 家族形態

国語科教科書とはどのような家族を描いているのだろうか。「拡大家族（健康&健康を害した高齢者）」、「一人暮らし（高齢者）」、「核家族（祖父母のみ&父母と子）」の家族形態に注目し、表2に示した。

表2 中学校国語科教科書（家族形態）

中学校国語科		枚数 (%)			
		1年 (n=260)	2年 (n=176)	3年 (n=170)	総計
拡大家族	健康な高齢者	0	0	0	0(0)
	健康を害した高齢者	0	0	0	0(0)
枚数 <sup>a</sup> /ページ (n)		0/260	0/176	0/170	0/606
一人暮らしの高齢者		0	0	0	0(0)
核家族	祖父母のみ	0	0	0	0(0)
	父母と子 <sup>b</sup>	1	2	5	8(100)
枚数 <sup>c</sup> /ページ (n)		1/260	2/176	5/170	8/606
総計		1	2	5	8(100)

n：教科書の総ページ数

a：拡大家族の写真数

b：父母のみも含む

c：bの写真数

家族が描かれていた写真の総計は8枚であった。「拡大家族」、「一人暮らしの高齢者」は1枚もなく、「核家族」の父母、父母と子の家族のみであった。このことから、国語科全体から見た家族と言え、高齢者が含まれない核家族であり、その写真や挿絵から高齢者の存在が希薄な家族というイメージが印象づけられるのではないかと考えられる。

「拡大家族」&「核家族」(=父母と子)の写真・挿絵の出現率(1枚あたり何ページおきに出現する割合)を見ていく。1年→2年→3年の「拡大家族」&「核家族」(=父母と子)の出現率はそれぞれ0/260&1/260(枚/ページ)→0/176&2/176(枚/ページ)→0/170&5/170(枚/ページ)と変化し、学年が上がるにつれて「核家族」(=父母と子)の写真・挿絵の割合が高くなることがわかった。

### (3) 写真・挿絵の具体例

ここでは教科書の写真・挿絵は具体的にどのような様子で描かれているのだろうか、それらを図1に示し、解説していく。



図1 父母と子の核家族(中3年)<sup>17)</sup>

図1は、父母と子の核家族を示したものである。子どもの野球の試合から帰る様子を表している写真であり、高齢者の姿はなかった。

2) 社会科

(1) 高齢者像

表3に社会科教科書（地理、歴史、公民）の高齢者像の枚数を調べ、示した。

表3 中学校社会科教科書（高齢者像）

中学校：高齢者（写真数）		社会科
		枚数（%）
高齢者 <sup>a</sup>	健康な高齢者	20(65)
	健康を害した高齢者	11(35)
総計 <sup>b</sup>		31(100)

a：家族形態に関係なく、全ての高齢者の写真

b：中学校地理、歴史、公民の高齢者写真数

中学校地理、歴史、公民の高齢者の写真・挿絵の総計は31枚であった。孫たちと図書館に行っているような「健康な高齢者」は、20枚（65%）であった。一方、車椅子や松葉杖を利用しているような「健康を害した高齢者」は、11枚（35%）であった。すなわち、中学校の社会科に描かれている高齢者像とは健康的な姿が多いことがわかった。

(2) 家族形態

社会科教科書とはどのような家族を描いているのだろうか。「拡大家族（健康&健康を害した高齢者）」、「一人暮らし（高齢者）」、「核家族（祖父母のみ&父母と子）」の家族形態に注目し、表4に示した。

表4 中学校社会科教科書（家族形態）

中学校社会科		枚数（%）				
		地理 (n=239)	歴史 (n=228)	公民 (n=213)	総計	
拡大家族	健康な高齢者	1	0	2	3(7)	4(10)
	健康を害した高齢者	0	0	1	1(2)	
枚数 <sup>a</sup> /ページ (n)		1/239	0/228	3/213	4/680	
一人暮らしの高齢者		0	0	0	0(0)	0(0)
核家族	祖父母のみ	0	0	1	1(2)	38(90)
	父母と子 <sup>b</sup>	9	1	27	37(88)	
枚数 <sup>c</sup> /ページ (n)		9/239	1/228	27/213	37/680	
総計		10	1	31	42(100)	

n：教科書の総ページ数

a：拡大家族の写真数

b：父母のみも含む

c：bの写真数

家族が描かれていた写真の総計は42枚あった。「拡大家族」の総計は4枚（10%）であった。その内訳として「健康な高齢者のいる拡大家族」は3枚（7%）（=家族形態2位）であり、

「健康を害した高齢者のいる拡大家族」は1枚（2%）（＝家族形態3位）であった。「一人暮らしの高齢者」は1枚もなかった。「核家族」は38枚（90%）であり、その内訳は「核家族（祖父母のみ）」が1枚（2%）（＝家族形態3位）、「核家族（父母と子）」が37枚（88%）（＝家族形態1位）であった。これらから、社会科全体から見た家族といえば、核家族「父母と子」が多く、高齢者の存在が希薄な家族というイメージが印象付けられるのではないかと考えられる。

「拡大家族」&「核家族」（＝父母と子）の写真・挿絵の出現率（1枚あたり何ページおきに出現する割合）を見ていく。地理→歴史→公民の「拡大家族」&「核家族」（＝父母と子）の出現率はそれぞれ1/239&9/239（枚/ページ）→0/228&1/228（枚/ページ）→3/213&27/213（枚/ページ）と変化し、公民での写真・挿絵が地理、歴史に比べて多いことが特徴的であった。また、「拡大家族」に比べ、「核家族」（＝父母と子）の写真・挿絵が多く記載されていることがわかった。

### （3）写真・挿絵の具体例

ここでは教科書の写真・挿絵は具体的にどのような様子で描かれているのだろうか、それらを図2～4に示し、解説していく。



図2 拡大家族の健康な高齢者（公民）<sup>18a)</sup>



図3 拡大家族の健康を害した高齢者（公民）<sup>18b)</sup>



図4 父母と子の核家族（公民）<sup>18c)</sup>

図2は、拡大家族の健康的な高齢者（公民）である。「基本的人権と個人の尊重」という単元での写真である。内容は、だれもが持っている基本的人権について紹介されている。挿絵から健康な高齢者というイメージを持つことができるのではないかと考えられる。

図3は、拡大家族の健康を害した高齢者（公民）である。「ともに生きる②」という単元で

の写真である。内容は、共生社会や男女平等、障害者への理解などが紹介されている。挿絵から車椅子を利用している人への電車でのバリアフリー対策があることから高齢者とは健康を害しているというイメージを形成させてしまうのではないかと考えられる。

図4は、父母と子の核家族（公民）を示したものである。「人権保障は確かなものに」という単元での写真である。内容は、政治や公共の福祉についての権利が紹介されている。挿絵から家族に高齢者が含まれないというイメージを持ってしまうのではないかと考えられる。

### 3) 保健

#### (1) 高齢者像

表5に保健教科書の高齢者像の枚数を調べ、示した。

表5 中学校保健科教科書（高齢者像）

中学校：高齢者（写真数）		保健
		枚数（%）
高齢者 <sup>a</sup>	健康な高齢者	1(25)
	健康を害した高齢者	3(75)
総計		4(100)

a：家族形態に関係なく、全ての高齢者の写真

中学校保健の高齢者の写真・挿絵の総計は4枚であった。地域のウォーキング大会に参加しているような「健康な高齢者」は、1枚（25%）であった。一方、車椅子や松葉杖を利用しているような「健康を害した高齢者」は、3枚（75%）であった。すなわち、中学校の保健に描かれている高齢者像とは、国語科、社会科と異なり、健康を害した姿が多いことがわかった。

#### (2) 家族形態

保健教科書とはどのような家族を描いているのだろうか。「拡大家族（健康&健康を害した高齢者）」、「一人暮らし（高齢者）」、「核家族（祖父母のみ&父母と子）」の家族形態に注目し、表6に示した。

表6 中学校保健科教科書（家族形態）

中学校保健		枚数（%）		
		1～3年 (n=142)	総計	
拡大家族	健康な高齢者	0	0(0)	0(0)
	健康を害した高齢者	0	0(0)	
枚数 <sup>a</sup> /ページ (n)		0/142	0/142	
一人暮らしの高齢者		0	0(0)	0(0)
核家族	祖父母のみ	0	0(0)	4(100)
	父母と子 <sup>b</sup>	4	4(100)	
枚数 <sup>c</sup> /ページ (n)		4/142	4/142	
総計		4	4(100)	

n：教科書の総ページ数

a：拡大家族の写真数

b：父母のみも含む

c：bの写真数

家族が描かれていた写真・挿絵の総計は4枚であった。「拡大家族」、「一人暮らしの高齢者」は1枚もなかった。「核家族」は4枚（100%）であり、「核家族（父母と子）」のみであった。これらから、保健全体から見た家族といえ、核家族「父母と子」のみであり、国語科、社会科と同様に高齢者の存在が希薄な家族というイメージが印象付けられてしまうのではないかと考えられる。

### （3）写真・挿絵の具体例

ここでは教科書の写真・挿絵は具体的にどのような様子で描かれているのだろうか、それらを図5に示し、解説していく。



図5 父母と子の核家族<sup>19)</sup>

図5は、「ストレスとの付き合い方」という単元での挿絵である。内容は、さまざまなストレスとその対処法が紹介されている。挿絵から家族の中に高齢者がいないというイメージを持ってしまうのではないかと考えられる。

## 4) 道徳

### （1）高齢者像

表7に道徳教科書の高齢者像の枚数を調べ、示した。

表7 中学校道徳科教科書（高齢者像）

中学校：高齢者（写真数）		道徳
		枚数（%）
高齢者 <sup>a</sup>	健康な高齢者	16(62)
	健康を害した高齢者	10(38)
総計 <sup>b</sup>		26(100)

a：家族形態に関係なく、全ての高齢者の写真

b：中学校1～3年の高齢者写真数

中学校道徳の高齢者の写真・挿絵の総計は26枚であった。スポーツ、中学生との交流会に参加しているような「健康な高齢者」は、16枚（62%）であった。一方、病院のベッドに寝たきりや車椅子を利用しているような「健康を害した高齢者」は、10枚（38%）であった。

### （2）家族形態

道徳教科書とはどのような家族を描いているのだろうか。「拡大家族（健康&健康を害した高齢者）」、「一人暮らし（高齢者）」、「核家族（祖父母のみ&父母と子）」の家族形態に注目し、

表 8 に示した。

表 8 中学校道徳科教科書（家族形態）

中学校道徳		枚数 (%)				
		1年 (n=168)	2年 (n=180)	3年 (n=168)	総計	
拡大家族	健康な高齢者	0	0	1	1(3)	5(15)
	健康を害した高齢者	1	3	0	4(12)	
枚数 <sup>a</sup> /ページ (n)		1/168	3/180	1/168	5/516	
一人暮らしの高齢者		0	0	0	0(0)	0(0)
核家族	祖父母のみ	0	0	0	0(0)	28(85)
	父母と子 <sup>b</sup>	9	10	9	28(85)	
枚数 <sup>c</sup> /ページ (n)		9/168	10/180	9/168	28/516	
総計		10	13	10	33(100)	

n：教科書の総ページ数

a：拡大家族の写真数

b：父母のみも含む

c：bの写真数

家族が描かれていた写真・挿絵の総計は33枚であった。「拡大家族」の総計は5枚（15%）であった。その内訳として「拡大家族（健康な高齢者）」が1枚（3%）（＝家族形態3位）であり、「拡大家族（健康を害した高齢者）」が4枚（12%）（＝家族形態2位）であった。「一人暮らしの高齢者」はなかった。「核家族」は28枚（85%）であり、「核家族（父母と子）」（＝家族形態1位）のみであった。これらから、道徳全体から見た家族といえ、核家族「父母と子」が多く、国語科、社会科と同様に高齢者の存在が希薄な家族というイメージが印象付けられるのではないかと考えられる。

「拡大家族」&「核家族」（＝父母と子）の写真・挿絵の出現率（1枚あたり何ページおきに出現する割合）を見ていく。1年→2年→3年の「拡大家族」&「核家族」（＝父母と子）のページ数割合はそれぞれ1/168&9/168（枚/ページ）→3/180&10/180（枚/ページ）→1/168&9/168（枚/ページ）と変化し、特に中学年での「核大家族」像の出現率が高くなっていった。

### （3）写真・挿絵の具体例

ここでは教科書の写真・挿絵は具体的にどのような様子で描かれているのだろうか、それらを図6～9に示し、解説していく。



図6 拡大家族の健康的な高齢者(中3年)<sup>20a)</sup>



図7 拡大家族の健康を害した高齢者(中2年)<sup>20b)</sup>

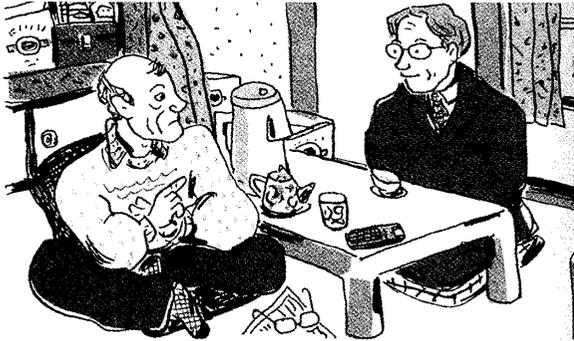


図8 一人暮らしの高齢者(中3年)<sup>20c)</sup>



図9 父母と子の核家族(中3年)<sup>20d)</sup>

図6は、拡大家族の健康的な高齢者(中3年)である。「天井が明るい」という話での挿絵である。内容は、作者が心臓の病気で手術前、中、後の作者の様子や作者を応援するたくさんの人々の様子が書かれてある。挿絵から健康な高齢者というイメージを持つことができるのではないかと考えられる。

図7は、拡大家族の健康を害した高齢者(中2年)である。「ごめんね、おばあちゃん」という話での挿絵である。内容は、年を取り、今まで出来ていたことがだんだんと出来ずに失敗するおばあちゃんに対して、兄妹が冷たくあたり、おばあちゃんを悲しませる。おばあちゃんが骨折で入院し、お見舞いに行った時に謝るという話である。挿絵から体が思い通り動かないおばあさんの姿から高齢者とは健康を害しているというイメージが形成されるのではないかと考えられる。

図8は、一人暮らしの高齢者(中3年)である。「加山さんの願い」という話での挿絵である。内容は、作者が一人で生活しているお年寄りの話し相手になるというボランティアでの様子である。挿絵から高齢者との対応の難しさ、高齢者とは一人で生活しているというイメージが形成されてしまうのではないかと考えられる。

図9は、父母と子の核家族(中3年)を示したものである。「思い出箱」という話での挿絵である。内容は、家族に色々な所に連れていってもらうことで最初は全く興味がなかったが、成長するにつれ、自分の生まれた地域が好きだということに気づくという話であるが、その家族の中に高齢者がいないというイメージを持ってしまうのではないかと考えられる。

## 5) 家庭科 (中学校)

## (1) 高齢者像

表9に家庭科教科書の高齢者像の枚数を調べ、示した。

表9 中学校家庭科教科書 (高齢者像)

中学校：高齢者 (写真数)		家庭科	
		枚数 (%)	
高齢者 <sup>a</sup>	健康な高齢者	27 (73)	
	健康を害した高齢者	10 (27)	
総計		37 (100)	

a：家族形態に関係なく、全ての高齢者の写真

中学校家庭科の高齢者の写真・挿絵の総計は37枚であった。散歩や畑仕事をしているような「健康な高齢者」は、27枚(73%)であった。一方、車椅子や松葉杖を利用しているような「健康を害した高齢者」は、10枚(27%)であった。すなわち、中学校の保健に描かれている高齢者像とは健康的な姿が圧倒的に多いことがわかった。

## (2) 家族形態

家庭科教科書とはどのような家族を描いているのだろうか。「拡大家族 (健康&健康を害した高齢者)」、「一人暮らし (高齢者)」、「核家族 (祖父母のみ&父母と子)」の家族形態に注目し、表10に示した。

表10 中学校家庭科教科書 (家族形態)

中学校家庭科		枚数 (%)		
		1～3年 (n=240)	総計	
拡大家族	健康な高齢者	12	12 (20)	14 (23)
	健康を害した高齢者	2	2 (3)	
枚数 <sup>a</sup> /ページ (n)		14/240	14/240	
一人暮らしの高齢者		0	0 (0)	0 (0)
核家族	祖父母のみ	1	1 (2)	46 (77)
	父母と子 <sup>b</sup>	45	45 (75)	
枚数 <sup>c</sup> /ページ (n)		45/240	45/240	
総計		60	60 (100)	

n：教科書の総ページ数

a：拡大家族の写真数

b：父母のみも含む

c：bの写真数

家族が描かれていた写真・挿絵の総計は60枚であった。「拡大家族」の総計は14枚(23%)であった。その内訳として「拡大家族 (健康な高齢者)」が12枚(20%) (=家族形態2位)であり、「拡大家族 (健康を害した高齢者)」が2枚(3%) (=家族形態3位)であった。「一人暮らしの高齢者」はなかった。「核家族」は46枚(77%)であり、その内訳は「核家族 (祖父

母のみ」が1枚(2%) (=家族形態4位)、「核家族(父母と子)」が45枚(75%) (=家族形態1位)であった。これらから、家庭科全体から見た家族といえ、核家族「父母と子」が多く、高齢者の存在が希薄な家族というイメージが印象付けられるのではないかと考えられる。

(3) 写真・挿絵の具体例

ここでは教科書の写真・挿絵は具体的にどのような様子で描かれているのだろうか、それらを図10~12に示し、解説していく。



図10 拡大家族の健康な高齢者<sup>21a)</sup>

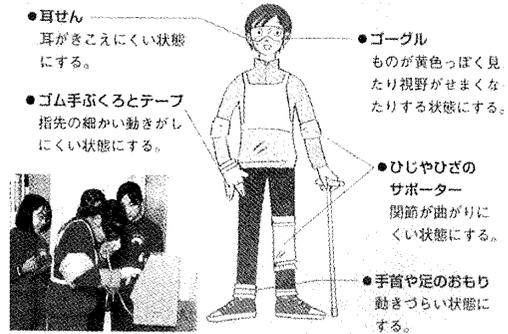


図11 拡大家族の健康を害した高齢者<sup>21b)</sup>



図12 父母と子の核家族<sup>21c)</sup>

図10は、拡大家族の健康な高齢者である。「わたしたちのより豊かな食生活」という単元での写真である。内容は、食生活の課題や楽しい会食、食生活指針などが示されている。挿絵から食べることの楽しさ、みんなで食べることから、家族の中に高齢者が含まれ、健康であるというイメージを持つことができるのではないかと考えられる。

図11は、拡大家族の健康を害した高齢者である。「わたしたちの生活と住まい」の単元の“実習例：心地よく安全な住まいを工夫しよう2”での挿絵である。内容は、高齢者の疑似体験である。ここでは、耳せんやゴーグル、おもりなどを使って高齢者の疑似体験を示している。挿絵から高齢者の普段の生活の大変さ、健康を害している高齢者というイメージを持ってしまふのではないかと考えられる。

図12は、父母と子の核家族である。「子どもにとっての家族を考えよう」という単元での写真である。内容は、子どもと家族との信頼関係や子どもを育てる役割が示されている。挿絵から子どもに家族からのたくさんの愛情がそそがれるが、その家族の中に高齢者がいないというイメージを持ってしまふのではないかと考えられる。

## 6) 高校 (家庭科)

## (1) 高齢者像

表11に開隆堂家庭総合教科書の高齢者像の枚数を調べ、示した。

表11 開隆堂家庭総合教科書 (高齢者像)

高校：高齢者 (写真数)		枚数 (%)	
		開隆堂	
高齢者 <sup>a</sup>	健康な高齢者	32(64)	
	健康を害した高齢者	18(36)	
総計		50(100)	

a：家族形態に関係なく、全ての高齢者の写真

高校家庭科の高齢者の写真・挿絵の総計は50枚であった。散歩、マラソン大会をしているような「健康な高齢者」は、32枚(64%)であった。一方、松葉杖を利用しているような「健康を害した高齢者」は、18枚(36%)であった。すなわち、開隆堂で描かれている高齢者像とは健康的な姿の方が多かった。

## (2) 家族形態

家庭科教科書とはどのような家族を描いているのだろうか。「拡大家族 (健康&健康を害した高齢者)」、「一人暮らし (高齢者)」、「核家族 (祖父母のみ&父母と子)」の家族形態に注目し、表12に示した。

表12 開隆堂家庭総合教科書 (家族形態)

高校家庭総合		枚数 (%)	
		開隆堂 (n=231)	総計
拡大家族	健康な高齢者	10(17)	11(19)
	健康を害した高齢者	1(2)	
枚数 <sup>a</sup> /ページ (n)		11/231	11/231
一人暮らしの高齢者		0	0(0)
核家族	祖父母のみ	7(12)	48(81)
	父母と子 <sup>b</sup>	41(69)	
枚数 <sup>c</sup> /ページ (n)		41/231	41/231
総計		59(100)	59(100)

n：教科書の総ページ数

a：拡大家族の写真数

b：父母のみも含む

c：bの写真数

家族が描かれていた写真・挿絵の総計は59枚であった。「拡大家族」の総計は11枚（19%）であった。その内訳として「拡大家族（健康な高齢者）」が10枚（17%）（＝家族形態2位）であり、「拡大家族（健康を害した高齢者）」が1枚（2%）（＝家族形態4位）であった。「一人暮らしの高齢者」は1枚もなかった。「核家族」は48枚（81%）であり、その内訳は「核家族（祖父母のみ）」が7枚（12%）（＝家族形態3位）、「核家族（父母と子）」が41枚（69%）（＝家族形態1位）であった。これらから、開隆堂家庭総合全体から見た家族といえば、核家族「父母と子」が多く、高齢者の存在が希薄な家族というイメージが印象付けられるのではないかと考えられる。

### （3）写真・挿絵の具体例

ここでは教科書の写真・挿絵は具体的にどのような様子で描かれているのだろうか、それらを図13～15に示し、解説していく。



図13 拡大家族の健康な高齢者<sup>22 a)</sup>



図14 拡大家族の健康を害した高齢者<sup>22 b)</sup>



図15 父母と子の核家族<sup>22 c)</sup>

図13は、拡大家族の健康な高齢者である。「家族の形」という単元での写真である。内容は、核家族、拡大家族の違いを示している。挿絵から健康な高齢者というイメージが形成されるのではないかと考えられる。

図14は、拡大家族の健康を害した高齢者である。「現代家族の特徴」という単元での写真である。内容は、家族の変化と家庭の機能、家族関係を示している。挿絵から高齢者とは健康を害しているというイメージを形成してしまうのではないかと考えられる。

図15は、父母と子の核家族である。「生活文化の伝承と創造」の挿絵から家族のだんらんが文化伝承に必要であることを理解させているが、その家族の中に高齢者がいないというイメージを持ってしまふのではないかと考えられる。

## 7) 高校 (家庭科)

## (1) 高齢者像

表13に実教出版家庭総合教科書の高齢者像の枚数を調べ、示した。

表13 実教出版家庭総合教科書 (高齢者像)

高校：高齢者 (写真数)		枚数 (%)	
		実教出版	家庭総合
高齢者 <sup>a</sup>	健康な高齢者	30(43)	
	健康を害した高齢者	39(57)	
総計		69(100)	

a：家族形態に関係なく、全ての高齢者の写真

高校家庭科の高齢者の写真・挿絵の総計は69枚であった。サッカーをしているような「健康な高齢者」は、30枚(43%)であった。一方、介護サービスをうけている、松葉杖を利用しているような「健康を害した高齢者」は、39枚(57%)であった。すなわち、実教出版で描かれている高齢者像とは健康を害した高齢者の姿が多かった。

## (2) 家族形態

家庭科教科書とはどのような家族を描いているのだろうか。「拡大家族 (健康&健康を害した高齢者)」、「一人暮らし (高齢者)」、「核家族 (祖父母のみ&父母と子)」の家族形態に注目し、表14に示した。

表14 実教出版家庭総合教科書 (家族形態)

高校家庭総合		枚数 (%)	
		実教出版 家庭総合 (n=247)	総計
拡大家族	健康な高齢者	13(34)	13(34)
	健康を害した高齢者	0(0)	
枚数 <sup>a</sup> /ページ (n)		13/247	13/247
一人暮らしの高齢者		0	0(0)
核家族	祖父母のみ	2(5)	25(66)
	父母と子 <sup>b</sup>	23(61)	
枚数 <sup>c</sup> /ページ (n)		23/247	23/247
総計		38(100)	38(100)

n：教科書の総ページ数

a：拡大家族の写真数

b：父母のみも含む

c：bの写真数

家族が描かれていた写真・挿絵の総計は38枚であった。「拡大家族」の総計は13枚（34%）であった。その内訳として「拡大家族（健康な高齢者）」が13枚（34%）（＝家族形態2位）であり、「拡大家族（健康を害した高齢者）」、「一人暮らしの高齢者」は1枚もなかった。「核家族」は25枚（66%）であり、その内訳は「核家族（祖父母のみ）」が2枚（5%）（＝家族形態3位）、「核家族（父母と子）」が23枚（61%）（＝家族形態1位）であった。これらから、実教出版家庭総合教科書全体から見た家族といえば、核家族「父母と子」が多く、高齢者の存在が希薄な家族というイメージが印象付けられるのではないかと考えられる。

### （3）写真・挿絵の具体例

ここでは教科書の写真・挿絵は具体的にどのような様子で描かれているのだろうか、それらを図13～15に示し、解説していく。



図16 拡大家族の健康な高齢者<sup>23 a)</sup>



図17 父母と子の核家族<sup>23 b)</sup>

図16は、拡大家族の健康な高齢者である。「家族とささえあい暮らす」という口絵の部分に記載されていた写真である。ここでは、家族が支えあって暮らしていることを示している。挿絵から家族そろっての団らんの大切さや健康な高齢者というイメージを持つことができるのではないかと考えられる。

図17は、父母と子の核家族である。「家族って何だろう」という単元での写真である。内容は、家族・家庭の意義や家族関係、世帯構成やその変化などが示されている。挿絵から家族の中に高齢者がいないというイメージを持ってしまうのではないかと考えられる。

## 4. まとめ

今回の結果は以下のようにまとめられる。

### （1）中学校教科書

- 1) 「健康な高齢者」写真・挿絵数／「健康を害した高齢者」写真・挿絵数の比は  
家庭(27/10=2.7) > 社会(20/11=1.8) > 道徳(16/10=1.6) > 保健(1/3=0.3) > 国語(6/0)
- 2) 「拡大家族」写真・挿絵数／「核家族」(＝父母と子)写真・挿絵数の比は  
家庭(14/45=0.3) > 道徳(5/28=0.2) > 社会(4/37=0.1) > 国語(0/8) = 保健(0/4)
- 3) 「拡大家族」及び「核家族」(＝父母と子)の出現率(前者あるいは後者の写真・挿絵数／総ページ数)は
  - a) 「核大家族」：家庭(14/240) > 道徳(5/516) > 社会(4/680) > 保健(0/142) = 国語(0/606)

b) 「核家族」(=父母と子)：家庭(45/240) > 道徳(28/516) > 社会(37/680) > 保健(4/142) > 国語(8/606)

1) の高齢者像で健康的な姿はそうでない高齢者に比べ最高2.7倍であり、国語では、健康な高齢者の姿のみであった。すなわち、中学校教科書には小学校教科書と同様に健康な高齢者が多く描かれていた。2) の家族形態(「拡大家族」/「核家族」(=父母と子))の写真・挿絵数の比は全学年で最高0.3倍であった。換言すれば「父母と子」の姿が多く、家族と一緒に暮らしている高齢者の姿は少なかった。3) の「拡大家族」の出現率は家庭科が17ページに1枚の割合で最も高かった。

## (2) 高校家庭科 (家庭総合)

1) 「健康な高齢者」/「健康を害した高齢者」の写真・挿絵枚数比は

開隆堂(32/18=1.8) > 実教出版家庭総合(30/39=0.8)

2) 「拡大家族」/「核家族」(=父母と子)の写真・挿絵枚数比は

実教出版家庭総合(13/23=0.6) > 開隆堂(11/41=0.3)

3) 「拡大家族」及び「核家族」(=父母と子)写真・挿絵の出現率(=前者あるいは後者の写真・挿絵数/総ページ数)は

a) 「拡大家族」：高校(実教=13/247) > 高校(開隆堂=11/231)

b) 「核家族」(=父母と子)：高校(開隆堂=41/231) > 高校(実教=23/247)

1) の高齢者像で健康的な姿はそうでない高齢者に比べ最高1.8倍であり、実教出版の教科書では健康を害した高齢者の姿の方が多かった。2) で家庭科における(「拡大家族」/「核家族」(=父母と子))の写真・挿絵数の比は最高0.6倍であり、「拡大家族」が少なかった。このことから、家庭科教科書においても高齢者がいない「核家族」が一般的な家族形態であるという印象を与えていた。3) 「拡大家族」の出現率において、19ページに1枚の割合であるが、高齢者のいない「核家族」は6ページに1枚の割合であり、拡大家族よりも3倍多く出現していた。いずれの教科書においても「核家族(父母と子)」の割合が高く、高齢者不在の家族像が高齢者の一人暮らしや孤独イメージに寄与しているのではないかと考えられた。

4人に1人が高齢者という急速な高齢化がやってくる。それはとりもなおさず、どこの家庭にも高齢者が存在することである。しかし、教科書にはほとんど高齢者が含まれない核家族ばかりが掲載されている。それを見たとき、子どもたちは自分の家族形態との違いを不思議に思うであろう。そして、高齢になれば、祖父母は今いる家族から離れ、どこか施設に行くのではないか思うようになってしまうのではないだろうか。大学生に高齢者のいる家族について劇をさせる授業を入江が行った。全グループのストーリーは共通し、祖父母をどこかの施設に行かせる内容であった。しかもその高齢者とは教科書にあるように元気であるにも関わらず、自分の子どもや孫から意見を聞かれることもなく、家族構成員として意志決定できない物言えぬ存在であった。学生は年老いた高齢者とはどこか施設に入るものだと考えていた。

これからの日本を考えた場合、子どもたちも親も祖父母も家族という場の中でお互いの役割と責任を持ち、家庭生活を共に送る“共生”が求められている。そのためには高齢者が含まれる家族像、実態に近い家族形態が教科書の中で多く描かれることが必要である。それを子どもたちが見ることで高齢者との“共生”意識が育まれるのではないだろうか。特に家庭科において超高齢社会の観点から、拡大家族を扱い、高齢者が参加する家庭生活のあり方を考えていく授業は今後益々重要であると考えられる。

## 参考文献

- 1) 内閣府：「平成17年度版 高齢社会白書」ぎょうせい
- 2) 山本圭郎・入江和夫「大学生の高齢者観」山口大学教育学部研究論叢 第56巻 第3部 p35 (2006)
- 3) 山本圭郎・入江和夫「小学校教科書の高齢者」山口大学教育学部附属教育実践センター研究紀要 第24号 p139 (2007)
- 4) 三角洋一他「新編 新しい国語1」 東京書籍 (平成18年)
- 5) 三角洋一他「新編 新しい国語2」 東京書籍 (平成18年)
- 6) 三角洋一他「新編 新しい国語3」 東京書籍 (平成18年)
- 7) 五味文彦他「新編 新しい社会 地理」 東京書籍 (平成18年)
- 8) 五味文彦他「新編 新しい社会 歴史」 東京書籍 (平成18年)
- 9) 五味文彦他「新編 新しい社会 公民」 東京書籍 (平成18年)
- 10) 齊藤歎能他「新編 新しい保健体育」 東京書籍 (平成18年)
- 11) 押谷慶昭「中学道徳 明日をひらく1」 東京書籍 (平成14年)
- 12) 押谷慶昭「中学道徳 明日をひらく2」 東京書籍 (平成14年)
- 13) 押谷慶昭「中学道徳 明日をひらく3」 東京書籍 (平成14年)
- 14) 佐藤文子他「新編 新しい技術・家庭 家庭分野」 東京書籍 (平成17年)
- 15) 金子利子「家庭総合」 開隆堂 (平成14年)
- 16) 宮本みちこ他「家庭総合」 実教出版 (平成14年)
- 17) 三角洋一他「新編 新しい国語3」 p47 東京書籍 (平成18年)
- 18 a) 五味文彦他「新編 新しい社会 公民」 p42 東京書籍 (平成18年)
- 18 b) 五味文彦他「新編 新しい社会 公民」 p49 東京書籍 (平成18年)
- 18 c) 五味文彦他「新編 新しい社会 公民」 p54 東京書籍 (平成18年)
- 19) 齊藤歎能他「新編 新しい保健体育」 p20 東京書籍 (平成18年)
- 20 a) 押谷慶昭「中学道徳 明日をひらく3」 p155 東京書籍 (平成14年)
- 20 b) 押谷慶昭「中学道徳 明日をひらく2」 p59 東京書籍 (平成14年)
- 20 c) 押谷慶昭「中学道徳 明日をひらく3」 p139 東京書籍 (平成14年)
- 20 d) 押谷慶昭「中学道徳 明日をひらく3」 p25 東京書籍 (平成14年)
- 21 a) 佐藤文子他「新編 新しい技術・家庭 家庭分野」 p74 東京書籍 (平成17年)
- 21 b) 佐藤文子他「新編 新しい技術・家庭 家庭分野」 p145 東京書籍 (平成17年)
- 21 c) 佐藤文子他「新編 新しい技術・家庭 家庭分野」 p170 東京書籍 (平成17年)
- 22 a) 金子利子「家庭総合」 p17 開隆堂 (平成14年)
- 22 b) 金子利子「家庭総合」 p16 開隆堂 (平成14年)
- 22 c) 金子利子「家庭総合」 p182 開隆堂 (平成14年)
- 23 a) 宮本みちこ他「家庭総合」 口絵5 実教出版 (平成14年)
- 23 b) 宮本みちこ他「家庭総合」 p20 実教出版 (平成14年)